

対象資料	意見・質問	回答
資料1(プラン素案)	<p>第4章のP81の概念図及びP83の体系図に関しては、今回の各委員のご意見を踏まえて事務局の方で修正し、会長のご承諾をいただくなど調整をお願いします。</p> <p>高齢者の就業をサポートしているシルバー人材センターとして、会長の就業状況と要介護認定発生の関連に関する研究内容は、とても興味深いものでした。</p> <p>また、資料1第2章P15～16の充実した高齢期の生活を送るための取り組み状況の「仕事をする事」について、高齢者一般の25.1%実践している25.9%は、同内容を第2号被保険者に対して調査した結果の47.6%実践している53.9%と比べ低くなっています。</p> <p>日本が抱える人口減少・高齢化・働き手不足の課題や会長からご説明いただいた就業と要介護認定の発生との関係性などから、高齢者自身の健康維持にもつながることへの意識を持って就業を実践していただけるよう、今後も高齢者の就業サポートを関係部局と共に進めていきたいと思っております。</p>	<p>委員の皆様からいただいたご意見等につきましては、会長と調整のうえで適宜修正等を行ってまいります。</p> <p>仕事を通じた社会参加が介護予防等にもたらす効果に鑑み、高齢者の就労促進に向けた取組を、シルバー人材センターをはじめとする各機関と連携のうえで推進していきます。</p>
資料1(プラン素案)	<p>・事前に高齢者が選択するための支援について質問いたしました。その回答として、地域包括支援センターの相談支援機能等の強化を主に想定しているとありました。</p> <p>会議に参加する前に、令和5年度大田区版「地域共生社会の実現」に向けた推進方針、関係する機関を連携して支援する「チーム支援」などを読んで大田区地域福祉計画とのつながりを理解しました。</p> <p>P130の施策の方向性には、地域福祉計画とのつながりがみえてきません。区民にもそのつながりがわかるように記載していただけるとわかりやすいかなと思われました。</p> <p>・施策体系図の中で、委員がお話されていまして特に中小企業の方に介護保険事業の情報があまり届かないという点において。</p> <p>先日、今までお給料から天引きされていた介護保険料を振り込んでくださいという郵便物が来たけど。。。という相談を受けました。確かに自分や家族が必要になって初めてその制度の詳細を知る方が多いと感じています。勤務している大学では、そのような冊子を作成し職員に配布しています(介護離職などをしなくてもいいように)中小企業にはそのような部署がないと思います。これから保険料を払い始める40歳の方や65歳の退職前の方々をターゲットにして、情報が届きにくい方にも情報発信をお願いしたいと思います。振り込み用紙に同封するだけでは、情報は届きにくいと思います。</p> <p>大田区の介護保険事業計画を知っておくと、自分らしく暮らし続けることにつながる(実現できる)と思えるような企画をお願いしたいです。</p>	<p>各施策の中では、高齢者福祉施策に焦点をあてた内容としておりますが、第4章p80※での記載やp83※の概念図にて、地域福祉計画の目指すべき方向性と当計画との整合性を図るものであることにふれております。</p> <p>その他の箇所でも、地域福祉計画との関連性を区民の方に理解いただけるような記載を検討いたします。</p> <p>また、中小企業等への介護保険制度の情報提供につきまして、区では令和4年度から「仕事と介護の両立支援応援事業」として、区内企業への出張形式での介護に纏わる制度の周知や、まだ介護に接していない方へその準備等について普及・啓発のセミナーなどを行っております。</p> <p>また、区産業経済部局とも連携し、事業周知に努めている所でございます。介護保険制度や大田区の事業計画についても普及を図り、自分らしく暮らし続けることができるまちづくりを進めて参ります。</p> <p>※…ページ数は、同送のパブリックコメント閲覧用の素案中のものとなります。</p>

<p>資料1(プラン素案)</p>	<p>P31 地域カルテ ・今後、作成にあたり各地区ごとの見守りキーホルダー登録数の件数を入れるのはどうか。見守りの体制の状況について参考になるのではないか。</p> <p>P81 概念図 ・PDCAサイクル、DXについて区民の方は分かりづらいと思うので紙面のスペースに限りがあると思うが、簡潔な説明書きがあると良いのでは。 ・どこが主で相談に乗ってくれるのか、他機関等とどう連携しているのか、もう少し分かりやすいカテゴリー分けをしてはどうか。</p> <p>P97 5高齢者の保健事業と介護予防との一体的実施に関する取組みの推進 ・地域包括支援センターでは3年に一度 未把握ひとり暮らし等の名簿を活用し主に訪問して生活状況の把握、包括周知や区事業の案内を行っている。その際、このデータベースと紐づけできれば医療機関未受診、区検診を受けていない等の健康状態が心配な高齢者が分かり、優先的に訪問でき必要な支援に繋がることができるのではないか。</p> <p>P128 1高齢者見守りネットワーク事業の充実 ・他区では地域の住民や関係団体等の見守りへの意識を高める、見守り上手な人を増やす等を目的に「見守りサポーター養成講座」を定期的開催している。大田区でも見守り推進事業者だけでなく、地域住民等も加えて地域全体の見守り力アップを図るのはどうか。</p>	<p>地域カルテについていただいたご提案につきましては、データ収集などを図り、翌2月の推進会議でお諮りできるように調整を図ってまいります。</p> <p>概念図につきましては、委員のご指摘の通り、区民の方にご理解いただけるよう、巻末には用語解説のページを設ける予定ですので、その中で説明を加える想定としております。</p> <p>また、その他のご提案につきましては、今後のプラン策定や事業展開に反映させていただくように検討、調整を図ってまいります。</p>
-------------------	--	--